

プレスリリース  
報道関係者各位

2024.1.13  
神奈川県  
NPO 法人チルドリン

神奈川県主催 初の大型木育ファミリーイベント  
「未就学児と小学生のファミリーが神奈川県産材について楽しく学べる」

## 第1回かながわ木づかいフェア ～かながわの森に ふれる・知る・ともに暮らす～



神奈川県(主催)と子育て支援団体・NPO 法人チルドリン(代表理事:蒲生美智代・東京都渋谷区)(企画運営)は、2023年2月23日(金・祝日)、24日(土)、三井アウトレットパーク 横浜ベイサイドのくじらの大屋根広場とベイサイドラウンジにて、「第1回かながわ木づかいフェア～かながわの森に ふれる・知る・ともに暮らす～」を開催します。本イベントは、神奈川県産木材活用の運動「かながわ木づかい運動」をメインテーマとした、神奈川県民向けの親子で楽しめる木育イベントです。

イベントは、アトラクション・ステージ・ブースの3コーナーで構成されており、どのコーナーにおいても、神奈川県産の木材について、親子で楽しく学べ、その後、暮らしの中で、活用していけるように提案型の体験内容になっています。ブースでは、神奈川県産材の積み木をはじめ木のおもちゃや雑貨などの商品を購入することができます。

また、体験型のブースやアトラクションはすべて無料で体験できます。

本イベントの告知として、横浜市の小学生児童に、案内のチラシ配布する予定にしており、ひろく神奈川県民全員で、神奈川県産の森を守り、次世代の子どもたちに、豊かな自然をつないでいくこと(森林保全)を大目的にし

ています。

## イベントコンセプト



神奈川県持続的な木材利用による森林の保全を果たすため、木材利用の意義、県産木材をはじめとする国産材についての認知度を向上させ県民の木材利用の促進を図ります。

また、イベント内容は、

木材関係団体等が活動を紹介する出展団体展示エリアや小学生高学年以上を対象とする、カンナ削り、木工工作の制作等の体験を行うワークショップエリア、また、小学生低学年・未就学児向けに木のボールプールや積木等で自由に遊ぶことのできる遊戯エリアを設置します。木材利用の川上から川下までを満喫できる1日を提案します。



※写真はイメージ

## イベント概要

《イベント名》

「第1回かながわ木づかいフェア」～かながわの森に ふれる・知る・ともに暮らす～

《日時》 2024年2月23日(金・祝日)、24日(土) 10:00- 16:30

《会場》 三井アウトレットパーク 横浜ベイサイド くじらの大屋根広場・ベイサイドラウンジ

《所在地》 〒236-8666 神奈川県横浜市金沢区白帆 5-2 TEL:045-775-4446

《イベントHP》 <https://www.child-rin.com/note/5646/>

《主催》 神奈川県

《企画運営》 NPO 法人チルドリン

★参加プレゼント★

先着 1150名(各日 575名)プレゼント！！

スタンプラリー&アンケート回答者に、神奈川県産材のひのき玉・カスターネット・ホイッスルのいずれか

<参加費> 無料

### 《アトラクション》

くじらの大屋根広場会場では、神奈川県産材で作ったお茶室での抹茶体験をはじめ、子ども宮大工 1000 人プロジェクトでのカンナ削り体験や、丸太切り体験、木のジャングルジムのアトラクションなどを準備しています。

### 《ステージ》

ステージはベイサイドラウンジ会場でのミニステージとなります。内容として、未就学児のための森の絵本の読み聞かせ・森のうたリクエストシートから子どもたちに選んで一緒に歌う「子ども歌声喫茶」、ミス日本みどりの大使によるギター演奏・日本の木づかい運動の提唱者(「日本の森を育てる木づかい円卓会議」議長)に聞く。「大工職人の技術と智慧の伝承と科学の交点を探る」(川井秀一教授 ※京都大学名誉教授/同生存圏研究所特任教授)

### 《ブース・ワークショップ》

体験ブースは、ベイサイドラウンジでの展開となり、神奈川県産材の間伐材を利用した「手形アート」や「キーホルダー作り」「アクセサリ作り」「お箸作り」など、他にも多彩なワークショップを展開します。



### 《参加団体・企業様》

堀内ウッドクラフト・ipolani Hawaii・チルドリン・神奈川県建具共同組合・チルドリン小田原・福田商店・こねこねランド・かながわ森林・林材業活性化協議会・神奈川県森林組合連合会・神奈川県・みどりなぐらし・ラ・ルース・さ

がみ湖森ものづくり研究所・花弁木工寺社建築/宮大工木造技術継承協会・小田原林青会・くま子母さんの絵本部屋・童謡歌手井上かおり・京都大学名誉教授/同生存圏研究所特任教授 川井秀一・ミス日本みどりの大使《順不同・敬称略》

## NPO 法人チルドリン

本イベントの企画運営は子育て支援団体・NPO 法人チルドリンが行います。

子育て時期にもっと「楽しみ、学び、納得し、安心したい」というママの想いを実現するために、「ママのコミュニケーション&ママとのコミュニケーション」をモノ・コト・社会と協働して行う NPO 法人です。

ママやママコミュニティ、子どものことを深く考える人・団体が集まるチルドリンでは、コミュニケーションから生まれる新しい価値観、知らなかった自分、ムリのない社会との関わり方を互いに学びあいながら見つめなおし、小さくとも自由で凜とした自分らしい生き方をはぐみあう活動をサポート します。

《団体名称》 特定非営利活動(NPO)法人 チルドリン

《設立年度》 東京都管法特第 953 号 2009 年 9 月 17 日 登記完了 法人設立 2009 年 9 月 30 日

《代表理事》 蒲生美智代

《会 員》 リアル会員 5,000 人、WEB 会員 20,000 人

《活動内容》 イベント企画、運営/コミュニティスペース運営/フリーマガジン発行/ウェブサイト運用

ママコミュニティ立ち上げ支援・管理運営/ママ&企業コラボレーション/ママ就労支援

《その他》

沖縄型県産材活用システム構築事業検討委員会事務局(2014 年度)

レジリエンスジャパン推進協議会幹事団体

第 3 回グッドライフアワード 実行委員会特別賞・「環境と女性活躍」特別賞 受賞

ジャパン・レジリエンス・アワード 2016

特別賞 佐々木則夫賞「ママまつり(ママのラブバックプロジェクト)」

\*\*\* 小さな暮らしの共同体 Oneness 活動風景とチラシ

### ナチュリン新月の会 (暮らしの SDGs の学び場)

**小さな暮らしの共同体**  
母性がつなぐ未来へ—

Childrin  
NPO法人チルドリン

Oneness

小さな暮らしの共同体 Oneness には、チルドリン設立から約12年、数々のママでママ支援活動を続けてこられた経験から、「ママの暮らしのSDGs」をテーマに、生活者として心と体の持続可能な暮らしを営める仕組みを共に作りましょう。子どもたちの未来のため、全ての世代のチルドリンOnenessの仲間が、全国でつながり活動をサポートします。

チルドリンの活動 <https://www.child-rin.com/>

母性の(ト)ンを未来へ—「産の期」「養の期」「暮の期」  
小さな暮らしの共同体は、ママとママのつながりを通して、世代をつなぐ、大きな社会課題を解決する活動です。この活動には、ママの暮らしのSDGsをテーマに、生活者として心と体の持続可能な暮らしを営める仕組みを共に作りましょう。子どもたちの未来のため、全ての世代のチルドリンOnenessの仲間が、全国でつながり活動をサポートします。

運営：NPO法人チルドリン  
Office 〒158-8501 東京都東区東横 4-28-28 東横2ビル 2F



SDGs House VOL.1  
小さな暮らしの共同体の取り組み、一部ご紹介!

「ナチュリン 新月の会」を開催♪  
暮らしの勉強会、ボディケアやヨガ、ダンスなど、大切なコミュニティを築きながら、食生活・日々の暮らしのSDGsを学ぶ機会を設けています。

おうちワンピースを制作  
環境にやさしい、着心地の良い、着たいワンピースを制作。生地・縫製・仕上げまで、自分たちで作る楽しさを味わいます。

無農薬素材の新しい販路を  
私たちの生産者が「家」にこだわりの素材を採り、大切に育てた素材を、自分たちで作る楽しさを味わいます。

Onenessの三ドルメディアを語る  
環境にも子どもたちや家族の健康にも気を配った素材を採り、大切に育てた素材を、自分たちで作る楽しさを味わいます。

Oneness運営スタッフ  
Onenessの活動は、ママとママのつながりを通して、世代をつなぐ、大きな社会課題を解決する活動です。





相談シーン

ワークショップ風景

【本件に対するお問い合わせ】

NPO 法人チルドリン 担当: 蒲生・檜崎

東京都渋谷区神宮前 4-26-28-2F

メール: [info@child-rin.com](mailto:info@child-rin.com)

HP: [www.child-rin.com](http://www.child-rin.com)

---